

Tokyo Kasei Press

VOL.
85
2020.7

02-03 理事長声明「学生ファースト」で支援強化

04-07 学生の皆さんへ 学科長・科長からのメッセージ



- 08 グローバル教育センターで英語を学ぶ
- 09 「食リンピック」農林水産省から表彰
- 10-11 野菜の未利用資源のレシピ開発
- 12 研究紹介
- 13 ニュース&トピックス
- 14 なでしこレシピ ～夏バテ防止編～
- 16 なでしこ歳時記

K しなやかに、凛と生きる。
TOKYO KASEI UNIVERSITY

東京家政大学大学院
東京家政大学
東京家政大学短期大学部
東京家政大学附属女子中学校・高等学校

新型コロナウイルス感染症対策に関する理事長声明 「学生ファースト」で支援強化

学校法人渡辺学園 理事長 菅谷定彦

昨年12月、中国の大都市、武漢で発生した新型コロナウイルスは、3月末から我が国でも感染者が増え始めた。学園はこれに先立って「3密」防止のため、卒業式、入学式の中に始まり、4月以降は登校停止措置を取った。学生・生徒の皆さんには不自由をかけているが、日本人の強い自衛心により、我が国の感染者、死者数を世界主要国で最も低水準に抑え込ませているのは間違いない。この間、4月16日の政府の「緊急事態宣言」前後から、日本のあらゆる活動が停止状態に入り、全国が「死の街」と化したため、コロナ本格化の本年4～5月の実質国内総生産（GDP）は「桁のマイナス成長が確実」という大きな代償を支払っている。学生・生徒、そして保護者の皆様にはなお自分の間、忍耐力を發揮していただかなければなるまい。

学園理事会は、学生・生徒の「ステイホーム」などの先例のない努力と学習意欲を支援すべく、他校に先駆けてコロナ対応策を決定、実行中である。緊急事態宣言直後の4月12日、当面実施できない対面授業のバックアップとしてのオンライン授業用パソコンなどの購入費1億2000万円の支出を始め、4月28日には学生・生徒8千人全員に一人5万円、総額4億円の一時給付を決定した。学生への給付は全国の大学で12番目に、中高生徒への給付は全国でトップである。さらにアルバイト収入の停止、減少による生活困難学生101人に一人7万円の追加給付、海外旅行、各種イベントのキャンセル料1000万円、学生の教育研修に必要な火急の健康診断費用など大学のコロナ対策3660万円、中高の教材等の宅配・郵送代等513万円など、現段階でのコロナ関連緊急支出は5億773万円である。

我が国のコロナ感染が本格化する前の常務理事会で3月10日に内定、3月24日の理事会で決定した令和2年度学園予算では、基本金組入れ前の当年度収支は1億1500万円の「赤字」を見込んでいた。太平洋戦争敗戦直後、当時の理事、教職員が手弁当で学生教育に従事した一時期を除けば、近年初の赤字予算である。私が理事長に就任した4年前から着手した附属中・高校の再建築は5月15日の持ち回り常務理事会で決めた第4次に入ったが、今春の中高入学者が教職員の努力がようやく実り初めて大幅反転した。このため中高の赤字は令和元年度の3億9300万円から令和2年度の予算では2億6300万円に改善する見込みである。

半面、学園の「大黒柱」大学・短大の赤字が平成30年度14億円から令和元年度に9億6800万円、令和2年度予算は短大の赤字が前年と同様5000万円台と見込まれていることもあり、4億8600万円の赤字に縮小する。少子化、文部科学省の東京23区における大学の入学定員抑制に加え、完成年度前の狭山リハビリテーション学科が令和2年度で9300万円の赤字、「ひとの生を支える教育・研究」経費増などによるものである。

理事会は5月26日、学園全部門での経費・施設設備費の10%カットと、賞与6%カット（中高教員は前述の入学増により従来の9%カットを下方修正）、理事長はじめ常務理事は7%カット（従来の10%カットから修正）の「構造改革」を決めた。コロナ緊急対策とは次元の異なる学園の中長期の財政体質弱体化に対応、大学を含め全教職員の意識転換をも促すものである。この措置対策が全て実施されても翌年度の学園の利益はなお9156万円の赤字を見込む。

こうした状況での学生・生徒へのコロナ緊急支援は理事会の「学生ファースト」方針に基づいたものである。

設備投資では、学園140周年記念事業は、東京オリンピック・パラリンピックなどによる建設コスト増のため平成30年9月の理事会でいったん141周年に延期、今回のコロナ対策や、10億円を予定している周年基金が募集開始5年目の本年5月で1億5000万円と極めて不調なこと、再度延期、143周年での竣工とした。

しかし学生から強い要望のあるトイレ洋式化、EPC関連の設備投資は予定通り遂行する。新型コロナの感染は万全の予防策を講じて、早く来春のワクチンが完成・流通するまでは、第2波を含めて続くと思われる。学園も対面授業再開など学園を従来の姿に復するタイミングを日々熟慮しているが、この間学生・生徒の皆さんには忍耐力の強化と併せて「しなやかに、凛（りん）と生きる」スピリットを熟成し、将来に備えていただくようお願いしている。



学校法人渡辺学園

新型コロナウイルス感染症拡大への主な対応

このたびの新型コロナウイルスに罹患された皆様と、感染拡大により生活に影響を受け不安な日々を強いられている全ての皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。

本学では、新型コロナウイルス感染に関する政府や関係省庁の方針を踏まえ、新型コロナウイルス対策本部にて、随時対応を協議・決定の上、ホームページ等で公表しています。今なお

予断を許さない状況が続いていますが、学生・生徒の皆さんが将来への希望を抱き続け、その夢を諦めることなく、安心して学べるように教職員一同努める所存です。

今後とも、ご理解とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

大学院・大学・短大・附属中高 全学生・生徒へ 一人5万円の緊急給付奨学金

全ての院生・学生・生徒が学び続けられる環境を整え、在宅授業等を実施するための対応を進め、その一環として、全ての院生・学生・生徒を対象に一人5万円の「緊急給付奨学金」を給付しました。これによる学園の支出総額は約4億円です。

給付奨学金は、極力公平に学修環境を担保できることを目的としたもので、有効に活用していただくようお願いいたします。

大学・短大 経済的困窮度を優先し101名へ 一人7万円を給付

新型コロナウイルス感染症の影響拡大により、家計急変やアルバイト収入減で経済的に修学困難な学生に対して、「特別支援奨学金」として大学・短大の101名を対象に、一人7万円を給付する支援を行いました。日本学生支援機構奨学金や

他奨学金を利用中の学生も応募可能（ただし、高等教育の修学支援新制度採用者を除く）で、経済的困窮度を優先した選考を行いました。

大学・短大 学生への貸与パソコン600台

オンライン授業に必要なパソコンの購入・入手が難しい学生に対して、ノートパソコンを600台用意し、貸与を行っています。4月の第1回パソコン貸与申請では、経済的事情を理由とした学生を中心に申し込みを受け付け、その後は、一人でも多くの学生がパソコンを用いてオンライン授業を受講できるよう、また実際にオンライン授業が始まり「やはり大学のパソコンを借りて授業を受けたい」という学生向けに申し込みを受け付けました。



大学図書館 図書・文献複写物の郵送サービス

オンライン授業の期間も資料を利用した学習・研究ができるよう、入構禁止期間について「郵送サービス」（図書の特別貸出、文献複写物の送付）を実施しています。受付期間は5月21日（木）～入構禁止期間で、送付料金は大学負担（片道のみ）、対象資料は板橋図書館・狭山図書館所蔵の図書、及び文献複写物（本学所蔵雑誌 / 学外からの取寄せ）となります。





家政学部・短期大学の皆さんへ

学科長・科長メッセージ



学ぼう！ 創ろう！ 楽しもう！

造形表現学科
学科長 早瀬 郁恵



本来であれば、授業の課題制作やサークル活動などで大学生活を謳歌する皆さんの声が風薫るキャンパスにあふれているはずでした。しかしながら、新型コロナウイルスの影響でソーシャルディスタンスを余儀なくされ、オンライン授業による新年度の始まりになりました。顔が見えない、空気感を共有できないなど慣れない環境の中、落ち着かない毎日になっていないでしょうか。

造形表現学科の授業は実習が多く、個別のアドバイスなど教員と学生の距離が近いことから堅苦しくない雰囲気包まれています。オンライン授業においても同様に、質問や相談など先生とよりパーソナルなコミュニケーションをとりながら、「学ぶこと」「創ること」の楽しさを共有していきましょう。

また、学生生活に関わる連絡事項や履修・資格に対する質問など学年ごとに manaba 内に案内所を設けて、情報をいつでも閲覧できるようにしています。

体験したことのない流れのなか、学びの場でたくましい心と感性を育むことで、しなやかで決して折れない強さと繊細さを身につけてください。

他者と未来を共に創る 姿勢を

環境教育学科
学科長 新関 隆



新型コロナウイルス感染症の世界的拡大(パンデミック)は、感染症そのものに対する不安だけではなく、私たちの生活・経済、そして世界の政治・社会に対して不安を引き起こしています。

今の時代、このパンデミックだけでなく、東日本大震災、多発する激甚災害、これから起こるかもしれない首都直下型地震、地球温暖化による世界規模の被害といったことから、目を背けるわけにはいきません。私たちはこの10年、そしてこれからの10年で、多くの不都合なことを経験することになるかもしれない時代を生きると言えるのでしょうか。

被害をできるだけ軽減する、そして困難を乗り越えていく、といった課題は、一人一人の課題でもあり、かつ、同時代に生きる世界の人々と共有する課題でもあります。このような、身近でありながら世界につながる課題に取り組むには、他者と未来を共に創るという姿勢を持って、多様な関係・価値観・考え方への理解を進めることが必要ではないでしょうか。

そして、このような時代にあって、大学で学ぶことの意味を考えなおす必要があるのでは、と思っています。そして、学生の皆さんには大学生時代を有意義に過ごしていただきたいと願っています。

在宅勉強に取り組む 皆さんへ

児童教育学科
学科長 木村 博人



新型コロナ感染症拡大防止のため、皆さんは自宅にてオンライン授業に取り組んでいることと思います。東京家政大学では、皆さんが登校できる日を4月からずっと心待ちにしています。

4月は正門までの道沿いにつながる桜がいつものように満開に咲き、花吹雪が舞いました。家政大の中は自然がたくさん残っています。春になれば、たくさんのお花が咲きます。憩いの広場に広がる小さな森にはたくさんのお花が咲いて、季節が流れていることを知らせてくれます。紫のスミレが咲き、タンポポも咲きます。家政大には、めずらしい関東タンポポも咲きます。

春を告げる春蘭の群生も見られます。それから黄色い花の金蘭、白い花の銀蘭は雑木林の中、踏み石のそばに小さいけれど自己主張しながら咲いています。夏が近くなると、希少種マヤ蘭も美しく花を咲かせます。ピンクのシャクナゲも咲きます。

みんな、いつもと変わらず皆さんを待っています。今年見ても来年も同じように美しい姿を見せてくれるはずですよ。

我々教員は遅れた授業内容を、オンラインでは伝えきれなかったことをどうやってみんなに伝えようかシミュレーションをしています。清掃スタッフの皆さんは、いつもみんなが戻ってきて快適に過ごせるように、毎日学内のすべてをいつものようにきれいにしてくれています。今は、我慢の時だけけど、登校できるようになったら、一気に取り戻してやりましょう！

少しずつ確実に

児童学科
学科長 岩崎 美智子



皆さん いかがお過ごしでしょうか？今年も入学式もクラス懇談会もなく新年度がスタートしました。

1年生の皆さんは、大学生になった実感がわかず、しばらくは不安な思いを抱かれたのではないのでしょうか？

2年生は、大学生活に慣れて、あれをやろう、これも頑張ろうと考えていたことでしょうか？

3年生は、実習を控えて、先生の指導を仰ぎながらスタンバイでしょうか？

4年生は、就職や進路について、どうしようかと思案しているところでしょうか？

初めてのオンライン授業は、学生だけでなく教員の方も不慣れで、うまくいかないことが多々あります。初めから「完璧」をめざさず、「少しずつ確実に」教員と学生とで授業を作っていきます。

授業でわからないことは、担当の先生に質問してください。心配なことがあったら、クラス担任やゼミの先生、職員に相談してください。私たちは、皆さんを全力でサポートしたいと思っています。

「思うようにはいかない経験」が、きっとあなたをひと回り大きな人間に変えてくれるはずですよ。皆さんにお会いできるのを楽しみにしています！

自分のペースで、 状況に適應する力

短期大学部 栄養科
科長 林 あつみ

いつの間にか夏本番を迎える季節となりました。連日パソコンに向かって過ごし、時間ばかりが足早に過ぎていきます。学生の皆さんも教職員も慣れない作業に四苦八苦し、神経を使う作業に疲労ばかりが蓄積していきます。

大学・短大を卒業するとほとんどの方は社会人になります。社会に出てからは仕事に必要な知識・技術は自分で情報収集し、身に付けなければなりません。大学は社会で活躍するための知識技術の修得の場です。それに加えて、今回は自己学習が出来る良い機会と捉えていただくとよいと思います。

教員が作成した資料や講義を自分なりに理解し、わからないところはまず調べてみる。その上でわからない部分は遠慮なく質問をする。そうすることにより、ただ授業を受け身で聞いているより、むしろ理解が深まることもあるのではないのでしょうか。



お互いに対面で授業を出来ないことは大変寂しいですが、今後の長い人生において、何があっても自分のペースを作り、その状況に適應する力は必要です。皆で協力してこの状況を乗り越えるべく頑張りましょう。

喜びのひとつきを 大事に

短期大学部 保育科
科長 鈴木 隆



保育科の皆さん、いかがお過ごしでしょうか？課題がたくさん出て大変ですか？1年生は入学式もなく、まだ会ってもしない私たちの授業を受けているので、なんだか変な感じですね。2年生は、実習も延期になり不安が大きいのと思います。でも、皆さんが免許・資格を取得する上で不利益を被ることがないよう、国からも指示がありましたし、私たちも全力を挙げてサポートしますので、それは心配しないでください。

自粛を余儀なくされる生活で、「もういやだ！」と叫びたくなります。この原稿を書いている今日は、6月3日です。緊急事態宣言は解除されましたが、油断は禁物。新型コロナとは長くつきあっていかなければならないといわれています。こんな時だからこそ、「わー楽しい」「これ面白い」「へーそうなんだ」「それ、いいね」というような、喜びのひとつきを大事にしてください。何気ない、小さなことに喜びを見いだしましょう。

そして、きっとお会いできたときの喜びは、この上なく大きい！その日を心待ちにしながら、1日1日を大切に、みんなで乗り越えていきましょう。

自身を客観視する よい機会

服飾美術学科
学科長 石田 恭嗣



皆さんのお過ごしはいかがでしょうか。今年度は新型コロナウイルスの感染拡大で、前期中はオンライン授業、遠隔授業となり、通学時間や友達と遊ぶ時間などが無いことで、ゆとりのある時間を過ごしていると思います。

本来であれば、今日も授業がたくさんあるなとぼやきながら、毎日を忙しく過ごしている時期だと思えます。忙しい時は目の前のことに集中するあまり、消化することに精一杯で視野が狭くなっていることがよくあります。

立ち止まることは自身を客観視するよい機会となります。また、このようなときに服飾を取り巻く社会問題、ビジネス、デザインなどについて様々な媒体を使って学んでいる人も既にいると思いますが、是非やってみてください。それらのことが、授業再開後の学びの理解を深め、服飾を有機的に理解することにつながると思えます。また、興味・関心が強くなり、将来の進むべき道を見つけることに繋がる契機となり得ます。

マイナスをプラスに変え、充実した日々を過ごしてください。学校で会えることを楽しみにしています。

あきらめなくて 希望を持ち続けられれば

栄養学科
学科長 小関 正道



今年75歳以上の人は第2次世界大戦を経験し80歳以上の人ならその悲惨な記憶があると思います。しかし日本は終戦後順調に復興し、戦争のない日々が続いてきました。戦争はありませんでしたが、1995年に阪神淡路大震災が発生、2011年は東日本大震災が発生しました。昨年は日本中で大水害が発生し関東地方でも避難勧告が発令される事態になりました。

このような生死にかかわる事態が起きたとき、不幸な気持ちになってしまい何もできません。しかしやがて困難を必死に克服し、再び平穏な生活を取り戻してきました。

今年はいまだに経験したことが無いウイルス感染症の危機に世界中が襲われ、今は解決策が無いまま不幸な気持ちに沈んでいます。しかし危機の中でも生きていかなければなりません。この状況の中でいかにして生活していくか、あきらめず知恵を絞って方法を考え、自分ができる努力をして日々を過ごさなければなりません。

あきらめなくて希望を持ち続けられれば、再び平穏な日常が戻ってくると思います。



人文学部・健康科学部・子ども学部の皆さんへ

学科長メッセージ



皆さんをガッチリと 支えます

リハビリテーション学科
学科長 清水 順市



昨年末から短期間で世界中に拡大した COVID-19は全世界の人間活動を抑え込んでしまいました。私たちは、感染拡大を防ぐために日々感染恐怖と戦っております。

さて、一年生の皆さんは昨年からの入学のための準備をして、4月から大学生として新しい人生のスタート台に立つという直前に、大学へ一歩も踏み入れることができない状況になりました。現在はオンライン授業が開始されましたが、大学生という実感はなく、学習の延長線上にいただけと感じている人が多いと思います。

リハビリテーションを学ぶ学生は、大学の授業内訳は座学が1/3、演習1/3、実習1/3の構成になっております。座学も教員の実技を見ながら、また学生は模倣をしながら授業を進めます。現在のオンライン授業は教員の実技や模倣ができない状況です。将来のことを考えると大変不安な状態だろうと思います。現在、全教員は効率よく学んでいただけるように教材を準備しております。大学で学ぶ状況になった時には、今、学んでいる基礎知識を効率よく活かせるように授業を進めますので安心してください。

医療従事者への 最大のエール

看護学科
学科長 鈴木 幹子



新型コロナウイルス感染症拡大により、私たちはこれまでに経験したことのない状況に直面しています。緊急事態宣言は、解除されましたが、今後、第2波、第3波が起こることが予測されます。新型コロナウイルス感染症の拡大・蔓延の長期化は、日本の医療崩壊につながりかねません。

本看護学科の卒業生である先輩達は、看護専門職者として医療現場の最前線で、献身的な努力を続け、今も戦っています。この苦しい現状を打開し、見えないウイルスに打ち勝つには、私たちひとりひとりが、いま何が出来るかを考え、行動に移していくことです。立ち向かう医療従事者の力となりえる最大のエールとは、私たちが感染しないことです。

この機会に日常生活を見直し、この状況下でできる健やかな過ごし方を考えてみましょう。自分の行動がその後、何にどのように影響するのか、皆さんの想像力が、この問題の解決につながります。

愛情・勤勉・聡明の生活信条を重んじる東京家政大学の皆さんにはその力があるはず。これからも周囲の大切な人の命を守るための行動を心がけていきましょう。

仲間の存在は 明日への元気と希望

心理カウンセリング学科
学科長 中込 由美



令和2年度の春、入学式が中止となり新入生85名と顔を合わすことなくスタートしました。誰もが先の見えない状況で経験したことのない日常生活を送りつつ、新入生はオンラインでのオリエンテーションで悪戦苦闘の連続だったと思います。入学して間もなく、A・Bクラス委員へオンラインクラス懇談会の話を受け付け、あつという間にクラス委員4名が、率先してオンラインクラス懇談会の企画準備を進めて5月10日に開催されました。

クラス委員の司会進行で新入生は、一人ずつ顔を出して自己紹介。遠く離れている仲間の大学生活への思いの詰まった一言に心は晴れやかになり、これから一緒に学問を学んでいく仲間がいること「早く会いたい」と願う言葉が飛び交い、笑顔で心が躍る様子はとても印象に残りました。「苦しみを分かち合う」、「仲間と出会う喜びを分かち合う」ことで互いに思いを馳せて共有できる仲間の存在は、明日への元気と希望に繋がりました。新入生は、現在もオンラインクラス懇談会を重ね仲間との交流を続けています。

可能性に満ちた 未来を創るために

英語コミュニケーション学科
学科長 谷田 恵司



今年度の新入生の皆さんは、入学式もオリエンテーションも中止となり、心配なことや不安なことがいっぱいある中での新しい学生生活の出発となりました。また2年生以上の皆さんも、緊急事態宣言もあってしばらくは外出もままならず、ストレスの多い生活になっていたのではないのでしょうか。

でも、マイナスも見方を変えればプラスになります。こうした機会を逆にチャンスとしてとらえ、学びの時間を与えられたと積極的に考えてみてください。教材はインターネットでも、高校時代の教科書でも、図書館の本でも、至る所にあります。あとはあなたのやる気次第です。

オンライン授業で毎日とても忙しいとは思いますが、さらにステップアップして可能性に満ちた未来を創るために、ぜひ自分を磨くことに挑戦してください。

英語コミュニケーション学科のスタッフはあなた方の学び意欲をいつでもサポートします。困ったことや分からないことがあったらぜひ声をかけてください。

朝の来ない夜はない

子ども支援学科
学科長 宮島 祐



全世界を震撼させている COVID-19の大流行により、皆さんご自身のみならず、ご家族など身近な方々の健康維持に不安をお持ちのことと存じます。

さらには既に3ヶ月余におよぶ自粛要請のために大学での学びができず不自由さや不満をお持ちの方が少なからずいらっしゃるかと拝察いたしております。東京家政大学は COVID-19対策に叡智を集約して全力をあげて取り組んでおり、子ども支援学科も学科教職員総意のもと、学生支援に向けて共に手を携えてこの難局を乗り越えるべく鋭意努力しております。5月7日からオンライン授業が始まり、リアルタイム双方向型授業、manabaでの資料課題提示やオンデマンド配信など、各科目の特徴を踏まえた上で皆さんの学びを深めるよう配慮し、演習や実習など対面授業や指導については後期にスケジュール調整しております。

子ども支援学科では子どもの保健、小児の感染症と免疫学、健康保育などの科目を通じて、今回の COVID-19のみならず様々な感染症対策の基本を学べる科目があります。今回の経験を基にさらに知識を深め、自分のできる感染防御と社会的マナーを実行する良い機会と発想を転換し、「朝の来ない夜はない(吉川英治)」を忘れず、明日に向かって前進いたしましょう。

パワーアップして 皆さんの勉学を支援

教育福祉学科
学科長 井森 澄江



教育福祉学科の1年生、2年生、3年生、4年生の皆さん！少々遅くなりましたが、新年度のご挨拶をさせていただきたいと思っております。1年生の皆さんご入学おめでとうございます。

2年生、3年生、4年生の皆さん進級おめでとうございます。皆さんとは直接お会いすることはできませんが、元気で勉学に励んでおられることはオンライン授業(Webex, manaba等)を通して毎日確認・確信しております。先生方も充実したオンライン授業に向けて日々格闘しています。皆さんがとてもよく協力して下さるので、良い授業になっていると思います。これからも一緒に良い授業を作っていきましょう。

ところで、本来ならば直接皆さんにご紹介したかったのですが、新しく教育福祉学科に着任した先生が3人いらっしゃいます。ここでご紹介させていただきます。

まず、7月に着任した 高木善史先生、精神保健福祉分野が専門の先生です。次に、資料室に任期付助手として沼田麻里紗先生が、また、任期付助手の三橋先生が育休ということ(5月7日に無事かわいい赤ちゃん誕生されました)で、教学助手として山田茉悠子先生が4月1日から着任されています。パワーアップして皆さんの勉学を支援していきます。



グローバル教育センターで 英語を学ぶ

グローバル教育センターでは、①グローバルマインドと十分な語学力を備えた学生を育てる、

②グローバルな世界で活躍できる人を育てる、という指針のもとに

海外研修、グローバルマインド育成、語学教育に取り組んでいます。

その中でも英語教育に対しては授業内のみならず、

授業外でも積極的に学べる環境を整えています。

コミュニケーション力
を上げる

英語学習サポートで英語力アップ!

キャンパス英会話

…今年度は後期のみ(50回)
で実施の予定です。

オンライン英会話

English Lounge

ランチ講座

e ラーニング

BBC ニュース

TOEIC講座

英語学習アドバイザー

英語試験
TOEIC IP、TOEFL iTP

※黄色:無料 朱色:有料

目的・目標に
合わせた
組み合わせで
利用できる!



英語資格試験の
スコアを上げる

おすすめ PICK UP!

キャンパス英会話

確実に英語力を上げたい方におすすめ! 年間100回のレッスンで英語で話す力を身につけます。

オンライン英会話&English Lounge

英会話に触れたい・試してみたいという方におすすめ! 無料で利用することができます。(※利用可能回数は応募状況によります。)

英語学習アドバイザー

TOEICのスコアを上げたいけど勉強方法がわからない、など、英語の学習方法や学習計画を作れない、という方におすすめ! 学習意欲が湧いた、という声多数! 無料で利用することができます。



キャンパス英会話

〈お問い合わせ先〉
グローバル教育センター
板橋キャンパス16号館2階
平日: 9:00~17:00 土曜日: 9:00~12:00
03-3961-1861
manaba登録キー: 8049489

学生有志団体「食リンピック実行委員会」 農林水産省・第4回食育活動表彰にて 「消費・安全局長賞」を受賞

農林水産省が食育の推進に取り組む全国の個人・団体を対象に実施する食育活動表彰にて、本学発祥の伝統ある学生有志団体「食リンピック実行委員会」の取り組みが「消費・安全局長賞」を受賞しました。

「食リンピック」とは?

毎年秋に東京家政大学で開催する食育イベントで、2005年に食育基本法の制定に触発された栄養学を学ぶ学生達が、地域社会に食育で貢献できる取り組みをしたいとの思いから企画しました。当時栄養学科教授だった中村信也名誉教授の発案により、「食」と「オリンピック」・「パラリンピック」を組み合わせて「食リンピック」と命名されました。

「食リンピック」では、参加者が「食」に関する10種類のオリジナル競技に挑戦し、幼児部門、子ども部門、大人部門に分けて表彰します。食育遊びに競技性を持たせることで、参加者の食育体験の動機付けが得られ、毎年の継続的な参加にも繋がっています。地域の子どもから高齢者まで参加できる「食リンピック」は、楽しい笑いが絶えない雰囲気の中、異世代交流の場にもなっています。



さわってつかんで

Let'sさかなつり



運営を通じた 豊かな人間形成

「食リンピック」の運営は、全て学生が主体となって実施しています。特に、オリジナル競技の発案は人気投票の結果を受けて、課題点を改良しながら、時代の流れに合わせてその年のテーマを話し合い、新しい競技を提案しています。

実施のための活動資金は、学生自らが地域商店街に赴いて、食育活動を説明しスポンサー資金を募っています。支援して下さる地域の方々と一緒に作り上げる過程でのコミュニケーションを通じて、健康で豊かな人間形成にも繋がっています。



小学校での食育授業

「出張食リンピック」や 食育教材の開発も

小学校に出向いて授業をしたり、イベントでブースを出展したり、大学外においても五感を使う食育遊びを取り入れた活動を行っています。また、産学連携を通じて食育教材の開発にも取り組み、「食育マグネットシアター」(2010年)なども商品化されています。

受賞コメント

素晴らしい賞をいただき大変光栄です。わたしたちは、このイベントを通して食の大切さや食への興味を持ってほしいと思います。これからもより良いものを作るため精進したいと思います。

(食リンピック実行委員会一同)

※2020年度の実施予定については、新型コロナウイルス感染症対策の観点から未定となっています。ご了承ください。

「食リンピック」に関するお問い合わせ

顧問 家政学部栄養学科 教授 大西 淳之 03-3961-7563
ヒューマンライフ支援センター 03-3961-5274





スパイスが
キャベツの芯
のにおいを
抑えてくれる♪

“キャベツの芯を使って作ろう”夏の暑さも吹き飛ばす
ドライカレー

〈材料・分量〉 ※2人分

キャベツの芯	100g
ひき肉	100g
玉ねぎ	50g
コーン	50g
人参	35g
ニンニク	1かけ5g
生姜	1かけ5g
油	小さじ1 (4g)
バター	小さじ1 (4g)
カレー粉	大さじ1 (6g)
ケチャップ	大さじ1と1/2 (22g)
顆粒コンソメ	小さじ1 (3g)
オイスターソース	小さじ1 (6g)
ご飯	360g
卵黄	2個 (40g)



- 〈作り方〉
- ① キャベツの芯、玉ねぎ、ニンニク、生姜をみじん切りにする。人参は皮ごとすりおろす。
 - ② 油でニンニクと生姜を炒め、香りが立ち始めたらひき肉を加え火が通るまで炒める。
 - ③ キャベツの芯、玉ねぎ、コーン、人参を加え、しんなりとするまで炒める。
 - ④ バター、カレー粉、ケチャップ、顆粒コンソメ、オイスターソースを加えて炒め、水分を飛ばす。
 - ⑤ 器にご飯と④を盛り、卵黄をのせて完成。



現在、レシピ開発中の学生に 食品ロス削減への 想いを聞きました!

(※以下全員、家政学部栄養学科栄養学専攻4年)

西村 莉奈さん

きっかけは、本学でのエコクッキングの授業です。授業を通して家庭から出る食品ゴミの量が想像を絶していたことに衝撃を受け、野菜の皮や茎や芯も活用した調理法を学び、**すぐにできる社会貢献の一つ**だと考えています。

飯沼 歩里さん

以前は美味しくないから食べないと拒んでいた野菜の未利用部位も、レシピ開発を機に意外と美味しく食べられることに気づきました。私たちのレシピを見て、自分も食べてみようと思ってくれる人が増え、**家庭での食品ロス削減に貢献できれば嬉しい**です。

五十畑 紗耶香さん

食品ロス削減に向けて、簡単にできる活動が野菜の未利用部位の使用です。普段は捨てている部分を食べることへの抵抗感や、調理方法も未知な中でのレシピ開発は、**自分たちのアイデアを形にしていけることが難しくもありますが、だからこそ、楽しい**と感じています。

岡本 真悠子さん

レタスの外葉、ブロッコリーの芯などは栄養が豊富な一方、臭いが気になるなど、調理法によっては素材の持つ良さが変化してしまうことがあります。調理学の知識を活かして改善し、**家庭にある調味料で簡単に美味しく作れるレシピを目標に**日々試作に励んでいます。



カット野菜より生じる未利用資源のレシピ開発 キャベツの芯もおいしく食べよう

家政学部栄養学科

教授 **峯木真知子**

キューピー株式会社と 共同研究

近年、核家族化や共働き世帯の増加に伴い、購入しすぎて食べられる「カット野菜」の需要が増加しています。カット野菜で最も多く使われるキャベツは、食品企業や家庭で食品ロス対策の必要が野菜です。
「食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律」(以下食品リサイクル法)が2001年5月に施行され、食品関連事業者は食品廃棄物の肥料・堆肥への再利用を進めています。しかし、野菜の未利用部分(外葉と芯)を肥料・堆肥へ転換することより、人間が食べて食品ロスの削減に寄与する方が環境負荷の削減となります。

栄養豊富なキャベツの芯

キャベツの芯には葉部よりも、ミネラル、糖分、食物繊維等の栄養が多く含まれていることがわかりました。そこで、キャベツの芯をおいしく食べるための調理方法を検討し、レシピ開発を行いました。まず、芯は下の2cmほどをカットして使用すると、廃棄する量の70%を減らすことができます。キャベツの芯のにおいが強い場合は、ローリエと酢・白ワインを少々加えて煮ますと、においが消えます。

このことを受け、一昨年より峯木研究室では、キューピー株式会社と共同研究で、カット野菜より生じる未利用資源のレシピ開発を卒業論文として取り上げ、栄養学科の学生と取り組んでいます。



調理室での試作風景

2019年度の栄養学科卒業生4名(木村仁美さん、辻希希さん、清水彩加さん、高柴絵理奈さん)は、キャベツの芯を利用して色々なオリジナルレシピを考案しました。指導協力は工藤美奈子氏、小泉昌子助教です。キャベツの葉とともに、芯も食べて食品ロスを減らす、つまり、家庭のごみを減らすレシピの開発という意義ある研究と言えるでしょう。
4名が考案したレシピの中から、「キャベツのレモンマリネ」「キャベツと豚肉の和風香味炒め」「キャベツとコーンのカレーライス」の3品がキューピー株式会社のホームページに2020年1月より掲載されています。ぜひご覧になり、ご家庭でも作っていただきたいです。

東京家政大学との取組みについては、キューピー株式会社のCSRブログで紹介されています(2020年4月掲載)。さらに、2020年度の4年生は、レタスやブロッコリーに着目して食品ロス削減に取り組みます。

研究室考案のレシピをcheck!

「キューピー株式会社」HP

トップページ→とっておきレシピ→素材と料理の基本
→キャベツの芯をかきこく使いこなす

<https://www.kewpie.co.jp/recipes/information/resources/>



卒業生からのコメント
清水彩加さん
(現栄養科 助手)

研究を通してレシピ開発の難しさと面白さなど多くの事を学ぶことができました。本研究が食品ロス削減に少しでも貢献できれば嬉しく思います。

大学・短大 受験生向け「WeekDay相談会(個別相談会)」 要予約!!

※板橋キャンパスのみ実施

アドミッションセンターのスタッフが
東京家政大学・東京家政大学短期大学部
の魅力をお伝えします!

Week Day 相談会 実施日時: 平日(月~金)
午前 10:00 ~ 12:00 (最終受付 11:30 ~)
午後 13:00 ~ 15:00 (最終受付 14:30 ~)

要予約!!

当日の流れ

- ①アドミッションセンターへ
まずは各門の守衛所で、個別相談会にいらした旨をお伝えください。アドミッションセンターへご案内します。
- ②説明・個別相談(20分程度)
学科やカリキュラム、学生生活について、アドミッションセンターの職員からご説明いたします。皆様からのご質問にもお答えいたします。
※時間に限りがありますので、質問がある場合はあらかじめご用意いただくことをおすすめします。
- ③構内見学(10分程度)
大学内を職員と共にご見学いただけます。
※現在見学できるのは建物外観のみとなります。

お申込み方法

お電話でご予約をお取りください。(所要時間は受験生お1人につき30分間です。)希望日・時間が決まったら、アドミッションセンターまでご連絡ください。

【ご参加される皆様へお願い】

Week Day 相談会に参加される方は、マスク着用のご協力をお願いします。また、ご自宅を出る前に必ず検温をお願いします。37.5度以上の発熱のある方は、参加をお控えくださいようお願いいたします。

〈お申込み・お問い合わせ先〉

アドミッションセンター 03-3961-5228 (直通)
平日: 10:00 ~ 16:00 土曜日: 9:00 ~ 12:00

附属中高 附属みどりヶ丘幼稚園へ手作りマスクを寄付

附属中高は6月1日に学校を再開しました。生徒たちは長い休みの間も毎日しっかり課題やオンライン授業に取り組んでいましたが、自宅で過ごす時間を利用して、人のために何か自分にできることはないかと考え、それを行動にうつした中学生がいます。中学3年の鉢蟻さんは、得意な手芸の技術を活かして幼児向けのマスクを160枚作り、みどりヶ丘幼稚園に寄付しました。家庭科でマスク作製の課題が出ていたことや、山梨県の中学生が手作りマスクを県に寄付したニュースを見たことがきっかけになったようです。鉢蟻さんは、小さい頃から手芸を教えてくれた祖母の力も借りて、一つ一つ丁寧に心を込めて作ったそうです。



本村園長へ贈呈



発案者の鉢蟻さん(中学3年)

鉢蟻さんから本村園長を通して園児のもとへと届けられた手作りマスクは大好評で、たくさんのお礼の手紙が鉢蟻さんに届けられ、鉢蟻さんもと喜んでいました。園児も中高生もキャンパスを同じくする家政だからこそできた心温まる交流です。

かせい森のおうち(認可保育所) 保育士が園児に手作りマスクをプレゼント

かせい森のおうち(保育園)では、新型コロナウイルス感染症防止のため、保護者に登園自粛へのご協力をお願いし、多くの子どもたちが家庭で過ごしました。保育士は子どもたちが自宅待機の間も、3密を避けながら、保育内容の研修や手作り玩具の制作など、子どもたちがいつ保育園に登園してもいいように、子どもの笑顔を思い出しながら、ミシンで手作りマスクを作成しました。出来上がった手作りマスクは、職員からのメッセージカードを付け、家庭で過ごしている園児に郵送しました。



かわいらしい柄の布を用意して



ミシンで丁寧に縫製

必要に応じて登園していた保護者が医療従事者などの子どもたちは、保育士や園長先生から思いがけないプレゼントを手渡しされ、はにかみながらも大喜びでした。

1997年のデンマーク研究に始まり、オランダ・イギリスなど、ヨーロッパの「福祉大国」と呼ばれる国々の住宅政策、ケア政策、地域福祉を研究しています。近年、どの国も少子高齢化の中で大激変を遂げています。デンマークでは、検査をして機能改善の可能性がある人にはまずリハビリをしてもらい、それをしないと介護サービスは提供されません。オランダでは、家事援

どんな暮らしがしたいか? ポジティブヘルスの考え方

これまで一貫して「エイジング・イン・プレイス(住み慣れた地域でその人らしく最期まで)」を研究テーマとして追いつけ、特に「住宅」「ケア」「地域」の3つの側面を意識してきました。今回の研究は、「地域」に焦点をあてた「アセット・ベースト・アプローチ」と言われるものです。

住み慣れた地域でその人らしく最期まで

高齢者の健康な生を支える「ひとの生(Life)」を支える学の構築」研究の挑戦

研究者: 人文学部教育福祉学科 *松岡洋子 / 家政学部栄養学科 和田涼子



well-being(ウェルビーイング)とは?

助やデイサービスは介護保険から外されて、市の事業として提供されています。そして、生活課題に対して「あなたは何かができますか? 家族は? ボランティアは?」と問い、それらが無い場合にはじめて制度的なサービスが利用できます。

さらに、イギリスでは医療は守られていますが介護予算はどんどん削られ、リエイブルメント(再自立)が盛んに行われています。つまり、「できないことは何?」と聞いて、「ならば、こんなサービスがありますよ」という「サービスありき」のやり方は



デンマークの高齢者住宅

「あなたはどんな暮らしがしたいですか?」と問われた多くのお年寄りは「楽しまだたバンド演奏を続けたい」などと答えます。日本ならば「前と同じように」、基会所で暮らしたい」などの答えが返ってくるでしょう。解決策は、専門職のサービスにあるのではなく、地域やそこで暮らす人々(ボランティア)にある場合が多いのです。

医者も「腰がいたい、膝がいたい、鬱っぽい」と通ってくるお年寄りにはもうお手上げ状態で、「薬では治せない」と言い始めています。そんな時、「あなたが好きだった美術館に行ってみたら?」と勧めると元気が変わったという事例もあります。これは「社会的処方」と言われ、研究もかなり蓄積さ

*執筆者

過去のものとなり、「何ができるか、どんな暮らしがしたいか、どう生きたいか」を本人と専門職との対話から見つけ出し、「自分のwell-being(ウェルビーイング)を自分で見つけ出す」ための、セルフマネジメントを支援する方向にあります。そして、

ヨーロッパからも注目される日本の超高齢社会

日本は想像を絶する大変な時代がやってきます。ヨーロッパでは、高齢化率28%を超える超高齢社会の日本に強い関心を持ち、研修に訪れたりもしています。日本からヨーロッパに発信できるような取り組みもたくさんありますし、日々の暮らしや研究を通して、新しいイノベーションを起こし、世界に発信できるのではないかと考えています。

お互いが気遣い合うお付き合いの中で

わたしたちは老いていく中で、それまでできていたことができなくなる機能低下が当然ながら起こります。「買い物に行けなくなったから、ヘルパーさんに買い物してもらおう」という時代は、人材不足が深刻化している社会でいつまで続くでしょうか。「買い物に自分で行けるようにリハビリしよう」「お隣さんに手伝ってもらおう」と皆が考える時代がくると思っていますし、それがあってほしいと願っています。介護保険法では、自立支援と国民の努力義務を謳っています。制度だけに頼るのではなく、お互いが気遣い合う人付き合いの中で、無理せず助け合えるような関係や地域社会を作っていくことが、とても大切なことだと思っています。

この背景には、ポジティブヘルスという考え方があります。そこで、医療や制度的なサービスのみ頼るのではなく、地域やボランティアの活動が日本でもどうなっているのかを調べたいと思い、今回の研究をスタートさせました。

Tokyo Kasei Press Vol.85

学校法人渡辺学園 広報誌なでしこ

2020年7月発行

新型コロナウイルスの影響により、本誌掲載の行事等の開催が変更・中止になる場合があります。お問い合わせは学園運営室(03-3961-5690)までご連絡ください。

Tokyo Kasei Press 広報誌なでしこ

創設時の校章に「愛を意味し、母性愛と教育愛を象徴している」撫子(なでしこ)の花が形どられています。“平成”から“令和”になった2019年に広報誌へリニューアルし、『なでしこ』の通称名を付けました。これからの時代を“しなやかに凛と生きる”女性として社会で活躍できるよう、願いを込めて多くの情報を発信していきます。

■学園運営室

門脇亜希子、川島 直子、古角花亜菜、坂本 理恵

■広報・広告推進提言グループ

安孫子奈緒、枝 隼也、小野 晴香、熊倉 直子
古渡由香里、齋藤 麻衣、原田 陽子、矢野 穂

■発行人

菅谷 定彦(学校法人渡辺学園 理事長)

■編集責任者

岩井 絹江(学園運営室 室長)

■編集・発行

学校法人 渡辺学園 学園運営室
〒173-8602 東京都板橋区加賀 1-18-1
電話：03-3961-5690

■制作・印刷

株式会社弘文社

■表紙デザイン

坂本 理恵

■広報誌なでしこ バックナンバー



■キャンパス 季節の風景



びわ

クチナシ

サルスベリ

次号86号は、2020年10月発行の予定です。
掲載希望の記事がありましたら、学園運営室にご連絡ください。

先日、昼休みに行った十条の中華屋で、昼間からビールと餃子で一杯やっている羨ましすぎる年配のおじさんに「あなた、卓球やってるでしょ？」といきなり聞かれ、突然のできごとで一瞬キョトンとなったが、「あー、よく似てるって言われるんです！」とオーバー気味の笑顔で返した。わたしは石川佳純選手に似ているらしく、これまでも数名から言われたことがあって、そう応答した。(自分でも彼女と同じ系統の顔の作りだと、確かに、思う)。

まったく見ず知らずの他人に、突然しかも普通に話しかけられる、そんな経験を十条では何回かしている。あるときは昼休みに涼んでいた夏の喫茶店で、隣のおじさんにスマホの使い方(LINEのアイコンにある赤丸の数字が消えないという悩み)を教えたこともある。

今のご時世では悪事に巻き込まれないように気を緩めてはいけませんが、気持ちのディスタンスを一気に詰めてくる十条のサラメン、わたしは嫌いじゃない。コロナ禍の混乱の中、原稿等ご協力を賜りました皆様にご心よりお礼申し上げます。(N.K)

紫陽花が学園内で色とりどりに咲いている。テレビを見ていたら、私たちが「花」だと思っているところは花全体を支える「ガク」とのこと。本物の「花」はガクの中央にあり思ったよりも小さいものだった。皆さんも紫陽花の「花」を見つけてみませんか。個人的には紫陽花という松本清張の推理小説が思い浮かぶ。また読み返してみようか。(A.K)

大学・短大はオンライン授業が、中高校生は少人数での対面授業が5月に開始し、定着してきた7月です。

学生の「早く学校に行きたい」という声もあちこちから聞こえています。いつ前の生活に戻るのか…?

「コロナ元年」と名付けた話を耳にしているが、前に戻ることを考えるのではなく、コロナ発生、生活の変化という現実を受け入れ、協同で新たな生き方を創設する“Pinchはchance”と受け止めることも必要です。

個人的には外出が減り、周囲を丁寧にみると、家の中の断捨離、家族との会話、ベランダでの野菜づくり、ご無沙汰の人に手紙を書く…。自宅で過ごす時間が増え、先延ばしにしていたことができ、小さな幸せを感じました。

こんな中で世の中の動きを見ながら、学生・生徒の皆さんに伝えたいと思ったこと。AI、IOTなどデジタルを駆使できることはとても大事です!!! 文理系を問わず、将来、日本の世界のどこで仕事・生活しても、『高度な情報の専門家でなく、より身近な職場や家庭で情報活用の力を生かすことができる』そんな人を社会は求めています。

これからは、人と人をつなぐ連携の手段が対面だけでなく、デジタルを活用してつながる時代に大きくシフトします。オンライン授業、オンライン会議等、「情報を駆使する力」は、未来を生きるすべての人に必要な手段になります。私も新たにマイパソコンを購入しはりきっています。(K.I)

なでしこ レシピ / 甘酒ヨーグルトスムージー



Smoothie

腸を元気に、
夏バテしない体づくり

家政学部栄養学科 准教授

小林 理恵

私たちの健康維持に腸内環境が密接に関わっていることを皆さんご存知でしょうか?腸の働きは消化吸収だけではなく免疫機能も担っています。腸内には、体内の約7割もの免疫器官が存在していると言われ、免疫力は腸内環境により大きく左右されます。

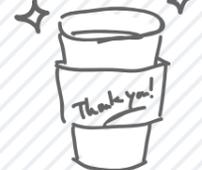
腸の機能を健全に保つには、腸内に生息する約500〜1000種類ともいわれる常在菌のバランスを整えることが大切です。そのバランスには個人差がありますが、私たちの健康維持に貢献しているのは「善玉菌」。病気の引き金になる「悪玉菌」よりも善玉菌を優位に保つことが有効であると考えられています。

代表的な善玉菌に「乳酸菌」が挙げられます。乳酸菌は胃で死菌となることがほとんどですが、体内では死菌も有益に動きます。近頃では「活きたまま腸に届く」設計をされた商品なども開発されていますが、私たちの食生活の身近にあるヨーグルトや日本の伝統的な加工品である甘酒などの発酵食品に多く含まれますので、是非活用してみてください。また、これらの乳酸菌を多く含む食品を食べる際にはその増殖促進に役立つオリゴ糖や食物繊維と一緒に摂取することも有効です。

夏バテで体調がすぐれないときには、腸内環境が乱れているかもしれません。腸を元気にすることで、免疫力を高め夏バテしない体づくりを目指しましょう。

〈試飲レボ by 編集部〉

ヨーグルトの酸味でさっぱりと飲めて、バナナ感もしっかりあっておいしい!甘酒独特の風味が実は苦手…というスタッフでもごくごく飲めると好評でした。シナモンの香りで、気持ちもリラックスできますよ。簡単かつ手軽に作れて、忙しい朝にもおすすめです。



〈材料〉 ※2人分

甘酒 100cc
ヨーグルト 100g
バナナ(オリゴ糖、食物繊維、カリウムが豊富です) 1本

〈作り方〉

全ての材料をミキサーに入れてバナナのかたまりがなくなるまで1〜2分ミキサーにかける。グラスに注いでから、シナモンをひとふりしても良いでしょう。

なでしこ歳時記

外出が制限された日々が続き、屋外で空気を吸い、空を見上げ、鳥のさえずりに耳を澄ませる時間が少なくなりました。世界中を恐怖や不安が覆う中でも、自然や生き物は確かにその生きるエネルギーでキャンパスの風景を彩ってくれました。まるで、人間たち頑張れよ、とエールをおくってくれるように。

今回は、5月〜7月の東京家政大学のキャンパス風景を七十二候とともに、お届けします。おおおおとした緑、心地よく吹く爽やかな風、しとしと静かに降る雨、夏の盛りに向かう強い光。入構制限期間にキャンパスへ足を踏み入れることができなかった全ての皆様に、誌面からではありますが、季節の移ろいを感じていただければ幸いです。

5月5日頃

かわずはじめてなく
蛙始めて鳴く



この時期の板橋校舎には、ツツジの花が咲き乱れ、初夏の爽やかな空気に似合っていました。

カエルが鳴き始める頃。「無事帰る」「お金が帰る」などにつながらことから、カエルは古くから縁起が良いとされてきました。



〈板橋〉16号館付近

5月15日頃

たけのこしょうず
竹笋生ず



ステイホーム週間だった大型連休明けは、湿度も低く、カラッと過ごしやすい陽気でした。狭山校舎では、金平糖のような形をした可愛らしいカルミアが咲き始めました。たけのこは春先のイメージが強いですが、春先の3月中旬頃に最も多く出回るのは、中国原産の孟宗竹。日本原産の真竹は5〜6月に旬を迎えます。皆さんも食されたでしょうか？



〈板橋〉16号館付近



〈狭山〉図書館横

6月16日頃

うめのみきなり
梅子黄なり



土壌が酸性かアルカリ性かで、その色合いが楽しめるあじさい。板橋校舎の1号館前は紫、16号館付近はピンク、豊かな色彩が雨の季節に映えました。

梅の実が熟す頃の雨ということから、「梅雨」になったとも言われています。



〈板橋〉1号館付近



〈板橋〉16号館付近

7月7日頃

あつかぜいたる
温風至る



キャンパスには暑い陽射しが注ぎ込み、本格的な夏が到来。厄介な夕立も木々には恵みの雨、といったところでしょうか。温風はこの頃に吹く南風のこと。梅雨明けの頃に吹く風は、白南風（しらはえ）とも呼ばれます。旬のオクラは、そのネバネバに整腸作用があり、疲れ気味の胃腸の調子を整えてくれます。



〈板橋〉22号棟付近

5月29日

かんしゃこめて
感謝込めて



5月29日、新型コロナウイルス感染症へ対応中の医療従事者などへ敬意と感謝を示すために、航空自衛隊による「ブルーインパルス」の飛行が実施されました。板橋キャンパスからも見ることができました。



豊かな自然あふれるキャンパスを、学生・生徒の皆さんが笑顔で闊歩するその日を待ちわびて。どうぞお身体にお気をつけてお過ごしください。

〈参考サイト〉暮らし歳時記(<http://www.i-nekko.jp/>)、暮らしのほり舎ブログ(<https://www.kurashi-hotorisya.jp/blog/index.html>)